

令和5年度 経営改革プラン

団体名	一般財団法人神戸農政公社
-----	--------------

設立年月日	昭和54年2月20日	
団体の設立目的・沿革	<p>市域の農漁業の振興および里山・農村地域の活性化に資する事業を実施することにより、市民福祉の向上と市域農漁業および里山・農村地域の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>S.54.2 (財) 神戸市園芸振興基金協会  H12.4 (財) 神戸みのりの公社 [(財) 神戸市緑農海浜公社と統合]  R3.7 (一財) 神戸農政公社 (団体名変更)</p>	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	里山・農村地域活性化事業	経済観光局農政計画課
	六甲山牧場管理運営	経済観光局農水産課
	海づり公園管理運営	経済観光局農水産課
	フルーツ・フラワーパーク管理運営	経済観光局農水産課
	神戸ワイナリー（農業公園）管理運営	経済観光局農水産課
	西部域漁港管理・栽培漁業センター	経済観光局農水産課
	神戸ワイン事業	自主事業
代表者	理事長 大崎 克英	

役職員数 (令和4年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	1	-	-	-		57	58
神戸市派遣職員	1	2	-	-		4	7
神戸市OB職員	1	-	-	-	1		2
その他	-	12	-	2	6	7	27
合計	3	14	-	2	7	68	94

財務状況（単位：百万円）	令和3年度	令和2年度	差引
經常損益	16	33	▲ 17
当期正味財産増減額	▲ 9	10	▲ 19
流動資産	839	961	▲ 122
流動負債	213	281	▲ 68
長期借入金（固定負債）	980	1,050	▲ 70
期末現金預金残高	54	138	▲ 84

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	持続可能な農業振興への貢献
ミッション②	農村への移住件数75件の達成（令和3年度～令和7年度）
ミッション③	水産資源の維持・増大
ミッション④	経営安定化に向けた財務体質の強化
ミッション⑤	ガバナンス・コードに即した組織運営および働き甲斐のある職場づくり・キャリア制度の確立

■短期的なミッション（令和5年度のミッション）

ミッション①	里山・農村地域の活性化に関する事業の実施、具体的成果の早期実現
ミッション②	循環型農業の推進
ミッション③	新規魚種の種苗生産技術の開発
ミッション④	働き甲斐のある職場環境の整備

■経営指標（令和3年度）

経営指標				令和2年度	令和3年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	0.125	▲0.115	▲0.2ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	26.35%	25.48%	▲0.9ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	1.24%	0.24%	▲1.0ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	144.26%	160.42%	16.2ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	342.53%	394.07%	51.5ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	0.85%	0.55%	▲0.3ポイント
持続性	自己資本当期純利益率（ROE）	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	46.79%	▲63.60%	▲110.4ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	46.79%	▲63.60%	▲110.4ポイント

ミッション名	令和5年度	令和6年度	令和7年度～	
中長期的ミッション				
持続可能な農業振興への貢献	<p>1. 持続可能な農漁業の振興 【農の担い手カレッジ】 ➡ 農業の担い手育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹の新規就農者の育成 果樹就農 10名</li> <li>・神戸ネクストファーマー 20名（累計）</li> <li>・休耕田活用による新たな担い手の育成 給食ファーマー20名</li> <li>・神戸農村スタートアッププログラム 受講68名（累計）</li> <li>・農村サポーター（100名）の活用</li> </ul> <p>【農畜水産業の生産振興】 ➡ 農漁業振興施設の運営強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルーツ・フラワーパーク バイテク事業（6種）による地域固有資源の継承、生産振興</li> <li>・六甲山牧場 但馬牛の肥育農家等へ供給（素牛10頭/年）</li> <li>・栽培漁業センター 種苗生産（目標魚種 3→5）による水産資源の確保 （ヒラメ・マナマコ・アサリ+マコガレイ、カサゴ）</li> <li>・平磯海づり公園 漁港施設の適正利用（釣り客とのトラブル防止等）、市民レクリエーション</li> <li>・農業公園 ワイン用ブドウの栽培指導、押部谷果樹団地振興 等</li> </ul> <p>【SDGs農業の推進】 ➡ SDGs農業の普及・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堆肥ベレット化施設整備、耕種農家への堆肥利用促進</li> <li>・果樹剪定枝、伐採竹林の炭化および炭素固定（CO<sub>2</sub>25トン/年） 等</li> <li>・スマート農業の促進（果樹栽培での実証・普及事業</li> </ul> <p>2. 農村定住環境の整備 【農村定住促進】 ➡ 定住人口の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンストップ窓口の運営、定住促進コーディネーター、空家バンク、移住体験施</li> <li>・空家調査、空家改修支援、農村版空き家おこし協力隊の活用</li> </ul>	<p>押部谷果樹団地等への送り込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>果樹就農 20名（累計）</li> <li>40名（累計）</li> <li>40名（累計）</li> <li>受講92名（累計）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>果樹就農 30名（累計）</li> <li>60名（累計）</li> <li>60名（累計）</li> <li>受講116名（累計）</li> </ul>	
農村への移住件数75件の達成 （令和3年度～令和7年度）	累計45件	累計60件	累計75件	

ミッション名	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
中長期的ミッション			
水産資源の維持・増大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業振興に資する魚種の種苗生産や中間育成の実施及び新たな魚種の養殖の検討や飼育技術の向上など、「豊かな海を育てる漁業」の推進。</li> <li>・キジハタなど、需要の高い魚種の育苗に関する研究。</li> <li>・漁協等との調整 等</li> <li>・配布・放流（目標値） <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒラメ 50千尾</li> <li>マナマコ 50千個体</li> <li>マダイ 40千尾</li> <li>マコガレイ 45千尾 等</li> </ul> </li> <li>・種苗生産（目標値） <ul style="list-style-type: none"> <li>3種→5種</li> <li>事業生産（3種）（ヒラメ、マナマコ、アサリ）</li> <li>生産試験（3種）（マコガレイ、カサゴ、アマモ）</li> </ul> </li> </ul>		
経営安定化に向けた財務体質の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理運営および指定管理業務の着実な実施</li> <li>・素牛販売拡大</li> <li>・既存自主事業の見直し（ワイン・堆肥斡旋）</li> <li>・経営計画の進捗管理</li> </ul>		
ガバナンス・コードに即した組織運営および働き甲斐のある職場づくり・キャリア制度の確立	<p>ガバナンスの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営会議、ガバナンス推進本部、理事会、評議員会の開催 等</li> <li>・コンプライアンスの徹底、リスク管理チェック、アンケートの実施、内部通報制度の運用 等</li> </ul> <p>働き甲斐のある職場づくり等の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公社規程および関係法令等に関する研修等</li> <li>・各種資格取得、研修受講補助等による各職員のキャリアアップの推進</li> <li>・専門知識の習得や飼育・栽培技術の向上・継承ができる環境整備の実施</li> <li>・各職員が事業の最前線を担い、その業務がより良く遂行することができる組織体制の整備</li> <li>・人材育成に向けて人事評価制度を活用、処遇への反映の検討および協議</li> </ul>		

ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
里山・農村地域の活性化に関する事業の実施、具体的成果の早期実現	1. 持続可能な農業の振興 【農の担い手カレッジ】 農業の担い手育成 神戸ネクストファーマー、神戸農村スタートアッププログラム、農村サポーターの活用											
	果樹の新規就農者の育成 果樹の栽培実習（FFPや押部谷果樹団地での管理作業、収穫、販売など） 剪定作業・農家とのマッチング											
	休耕田活用による新たな担い手の育成											
	【観光農園・貸農園支援】 イチゴ狩りPR トウモロコシ狩りPR ぶどう・なし狩りPR いもほり・柿狩りPR 貸農園PR											
	2. 農村定住環境の整備 【農村定住促進】 定住人口の増加 ワンストップ窓口の運営、定住促進コーディネーター、空家バンク、移住体験施設、空家改修支援											
	空家調査 協力地域の追加募集 空家の掘り起こし調査、所有者の意向確認、法令調査 移住希望者とのマッチング											
	地域おこし協力隊の活用 公社業務（移住促進、農業振興）をしながら、地域活動へ参加											
	3. 堆肥ペレット化施設の整備 施設整備詳細設計等 施設改修・設備設置工事											
	4. 国内資源由来肥料への転換に向けた取り組み 国内資源由来肥料の原料の成分分析、原料収集等の実証、国内資源由来肥料の試作等実施											
	循環型農業の推進	3. 果樹剪定枝、伐採竹林の炭化および炭素固定等の検証・実証 (果樹) 剪定作業 炭化作業 散布等 (竹林) 伐採～炭化又はチップ化～農地等へ施肥（随時） ※公社から炭化器、チップの貸出により実施										
4. SDGs 基金の運用 事業募集・選定 事業実施 実績報告												

ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
新規魚種の種苗生産技術の開発	1. 種苗生産 → ヒラメ (50千尾) (4月) → マナマコ (50千個体) (5月) → アサリ (2,000千個体) (9月) → ヒラメ (3月) ← マナマコ (5月) → アサリ (9月) ← ヒラメ (5月) → マコガレイ (15千尾) (4月) → マダイ (40千尾) (7月) → マコガレイ (2月) ← マコガレイ (4月) → クマエビ (20千尾) (7月) → マコガレイ (2月) ← マコガレイ (4月) → カサゴ (6月) → マコガレイ (12月) → カサゴ (2月) ← アマモ (6月) → アマモ (11月) → マコガレイ (12月) → カサゴ (2月) → アマモ (11月)											
	2. 中間育成 ← ヒラメ (5月) → マコガレイ (15千尾) (4月) → マダイ (40千尾) (7月) → マコガレイ (2月) ← マコガレイ (4月) → クマエビ (20千尾) (7月) → マコガレイ (2月)											
	3. 学校見学等受入 ← 随時実施 (4月) → 随時実施 (11月)											
	4. 種苗生産技術の開発 → マコガレイ (30千尾) (5月) → マコガレイ (12月) → カサゴ (2月) → カサゴ (6月) → マコガレイ (12月) → カサゴ (2月) → アマモ (6月) → アマモ (11月) → マコガレイ (12月) → カサゴ (2月) → アマモ (11月)											
	5. 飼育技術の向上等 魚類分科会・担当魚種会議等において、他施設の飼育方法等について情報交換を実施。また、栽培漁業センター											
働き甲斐のある職場環境の整備	1. ガバナンスの強化 外部弁護士等も加えたガバナンス推進本部の開催、理事会への報告 経営会議・ガバナンス改善チーム会議（毎月）、事業部会議（隔月）、各事業部会議（主任会議・安全衛生委員会） ← 随時実施 (4月) → 随時実施 (11月)											
	2. 関係法令等に関する研修等の実施（年6回程度） ← 随時実施 (4月) → 随時実施 (11月)											
	3. 各種資格取得、研修受講等（随時） ← 随時実施 (4月) → 随時実施 (11月)											
	4. 人事評価の処遇への反映検討 処遇等への反映の検討・協議 ← 随時実施 (4月) → 随時実施 (11月)											
	5. 勤怠管理・給与計算等システム導入 対象業務・システム仕様・事業者の検討等 ← 随時実施 (4月) → 事業者決定・導入準備等 (12月) → 随時実施 (11月)											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)	○ガバナンスの強化 ○里山・農村地域の活性化および農漁業の振興
	<b>○ 農業・農村の人材育成、耕作放棄地の発生防止、持続可能な農業振興、快適な里山暮らし</b>	
	・果樹就農 (R4~7年度 累計30名)	
	・神戸ネクストファーマー (R4~7年度 計60人) : 規制緩和による小規模農地の新たな担い手育成	
	・給食ファーマー (R5~7年度 累計60名)	
	・神戸農村スタートアッププログラム (R3~7年度 計116人) : 農村での起業支援	
	・観光農業の推進 (R4~7年度 計20万人) (R4:5万人、R5:累計10万人、R6:累計15万人、R7:累計20万人)	
	・農村への移住件数 (R3~7年度 計75件)	
	<b>○ SDGsの取組</b>	
	・果樹剪定枝の炭素固定 (R5~7年度 CO <sub>2</sub> 換算累計75トン)	
	<b>○ 魚種の種苗生産技術の向上</b>	
	・稚魚放流 (ヒラメ 50千尾、マナマコ 50千個体、マダイ 40千尾、マコガレイ 45千尾、クマエビ20千尾)	
	・新品種種苗生産 (R5 1品種増、R6 1品種増)	
	・小学生等見学受入 (毎年度延 40団体、2,000人)	
<b>○ ガバナンスの強化 (コンプライアンス・リスク管理・ハラスメント防止の徹底)</b>		
・外部の弁護士等を加えたガバナンス推進本部の開催及び理事会への報告		
・ガバナンス改善に向けた公社内会議 (経営会議、ガバナンス改善チーム会議) の開催等 (毎月)		
<b>○ キャリアアップの推進等働き甲斐のある職場づくり</b>		
・研修、セミナー、講演会等実施 (毎年度延 5回、参加 200人)		

■ 市支援策の活用状況 (令和4年度)

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	